



開物成務

SDGsに取り組む子どもたち～開成小のよさ～

郡山市は「SDGs未来都市」に福島県で初めて認定されるなど、SDGsに積極的に取り組んでいます。

5月21日(金)の全校集会(Zoomを使用)で子どもたちに話をしたところ、子どもたちは早速実践してくれています。「ゴミを拾いました。」「友達を助けてあげました。」「食べ物を残さないようにしています。」「係の仕事をがんばっています。」など、みんなのために行動する姿を見ることができうれしく思っています。これからもSDGsの実践化、SDGsの精神を生かした取組を行って参ります。

また、子どもたちの未来のためにもSDGsの輪を広げていきたいと思っています。ご家庭でも意識した取組を行っていただけたらと思います。SDGsが目途としている2030年まであと9年です。



SDGsの精神ここにも、委員会活動～開成小のよさ～

「なすことによって学ぶ」児童会活動。本校では、5・6年生が「体育」「環境」「給食」「掲示」「図書」「美化」「保健」「放送」「運営」の委員会に分かれて、

「みんなが生活しやすいように」

「みんなが学校生活を楽しめるように」

「自分たちの学校をより良くするために」

活動を行っています。これはまさしく郡山市で取り組んでいるSDGsにつながるものですね。



放送委員会の活動の様子

みんなで交通事故防止を

☆5・6月は交通事故が多い月と言われておりますが、本校においても交通事故が続けて発生しています。学校では、「道路横断の際の安全確認」、「自転車の乗り方」を全校放送で、各学級で繰り返し指導したところです。

また、25日(金)の全校集会は、「緊急交通安全教室」として、開成山交番の方に来ていただき、交通安全についてお話しいただきました。

交通事故は「命」にかかわります。ご家庭でも登校する際、遊びに出る際に、一声かけていただきたいと思います。お子さんの通る道に危険箇所があれば、「〇〇のところが危ないから必ず止まるように」等、地域の実状、お子さんの状況に合わせたお話を繰り返しお願いいたします。

◎なお、新型コロナウイルス感染症予防へ向けての取組継続についても重ねてお願いします。